

広報・見える化部会開催のイベントについて

イベント名称 まちもり探検キッズ（仮）

1. 主旨

広報・見える化部会による「子ども向けリーフレット」作成を契機とした、リーフレットのお披露目及び広報・見える化部会での意見聴取の場として、イベントを開催します。

2. イベント概要

前半は、ネイチャーゲームを通じて、自然の魅力やみどりアップ計画についての理解を深めます。後半は、前半のイベントで気付いたことを参加者で共有した後、ワークショップ形式での意見交換、計画や税の紹介などを行います。

3. イベント日時・対象など

(1)日時(予定)

3月12日(土) 午前10時～午後2時

(2)対象

小学生と保護者同伴20組(保護者は中学生以上)

(3)メイン会場

JR十日市場駅～新治市民の森・にいほる里山交流センター

4. イベント内容

(1)前半(ネイチャーゲーム)

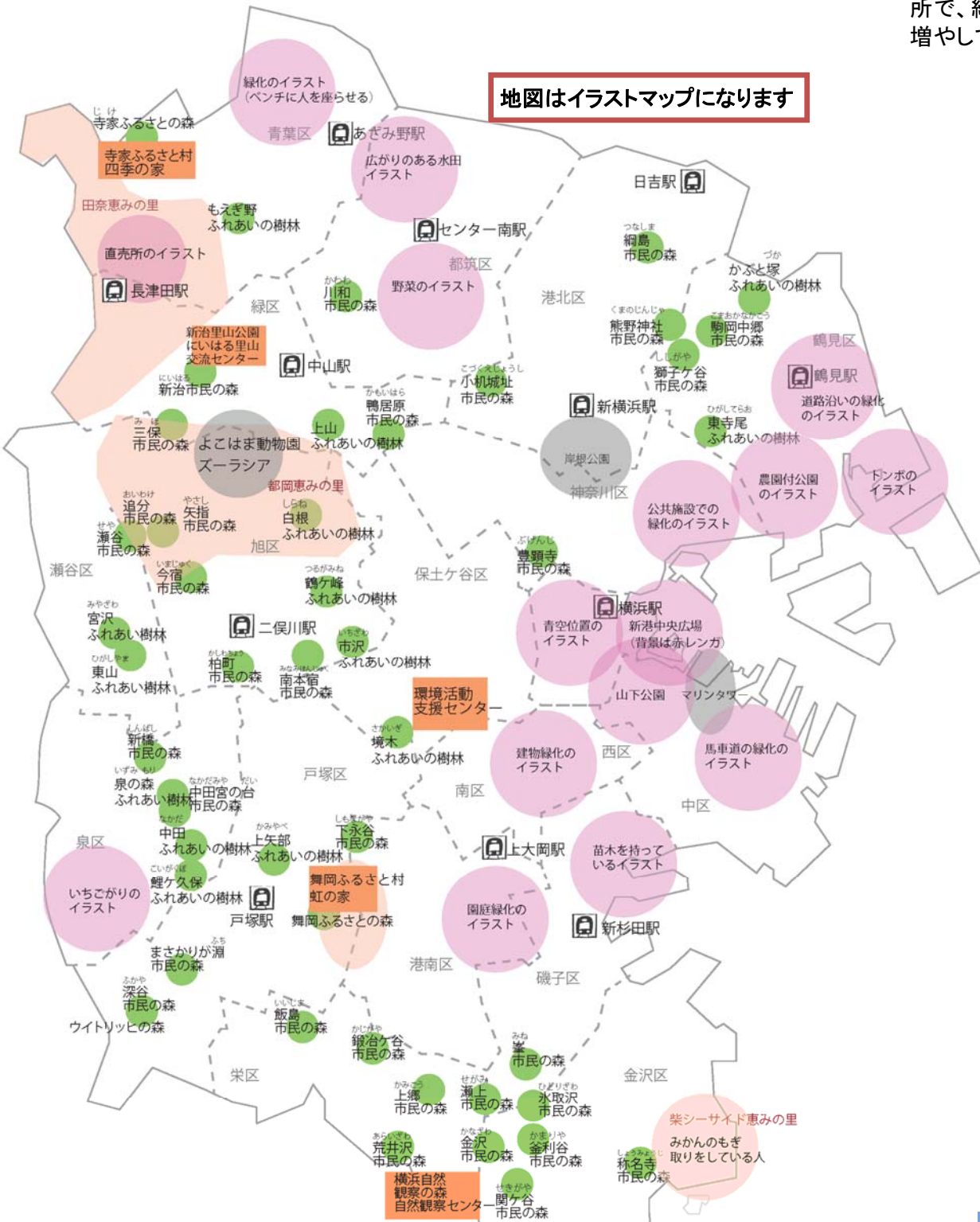
十日市場駅から市民の森まで歩きながら、まちの緑と森の緑の違いを発見するようなゲーム形式のイベントを行う。

(2)後半(計画の紹介・ワークショップ)

- ・広報・見える化部会の委員の方々により、計画やみどり税の紹介を、紙芝居等で紹介する。
- ・前半のネイチャーゲームで気付いたことを踏まえて、「10年後のまちがどうなっていたらよいか」等といった統一した題材についてグループごとに絵を描いてもらい、発表してもらおう。

みどりアップ体感MAP

横浜は大都市なのに、緑豊かな環境が残されています。横浜の緑を子どもたちの世代に引きついでいきたい。そんな横浜市民の想いが形になった「横浜みどりアップ計画」。市民、会社や商店などの事業者の方、市役所が協力して、取り組んでいます。みどりアップを体感する主な場所を紹介します。



田んぼや畑でみどりアップ

田んぼの風景をまもろう

かつては横浜にも田んぼがたくさんありました。一面に広がる田んぼのながめや、森と田畑がいつよになった谷戸(やと)の美しさ。横浜市民にとって大切な風景を、みどりアップ計画で守っています。

畑で農体験をしよう

果物のもぎとりや野菜の種まき・収穫など、色んな農業体験を楽しめる農園があります。



野菜と力くらべだ



緑区新治(にいはる)町の谷戸(やと)

直売所で農ちく産物を楽しもう

生産者と消費者が近い横浜では、新せんでおいしい野菜や果物を生産者が直せつ、売っている直売所がたくさんあります。



直売の様子

まちでみどりアップ

みんなのまちでもやっているよね!



学校やほいく園、ようち園で

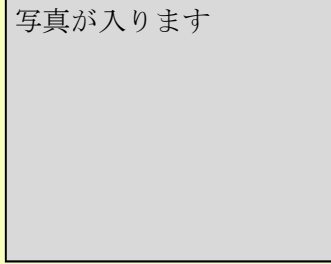
校庭の芝(しば)生化やビオトープづくり、屋上緑化など、子どもの身近な場所で、緑にふれることができる環境を増やしています。



校庭が芝生になったよ(神奈川区)

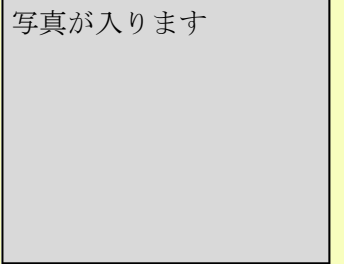
道路沿いで

写真が入ります



住宅街で

写真が入ります



この緑化は、まちの人達が協力して、緑と花で、もっといい町になるように行動してきたものだ。

人がたくさん集まる場所で

多くの観光客が訪れる、横浜港を中心とした場所で、緑や花を増やしてまちの魅力を高めています。



新港中央広場(中区)

きれいな花を楽しむために、人が集まってくるよ

森でみどりアップ

まとまりのある森を残す

横浜の森の多くは個人の土地です。森を管理することは大変なことなので、森を持ちきれなくなる人が多くいます。みどりアップ計画では、森の持ち主が森を持ち続けられるために、色々な支援を行っています。



保土ヶ谷区にある森

みんなで森を手入れする

横浜の森のほとんどは、手入れをしないと荒れてしまう人工林です。生き物にとっても住みやすい環境(かんきょう)や、利用者の安全のために、愛護会(あいごかい)やボランティアの方と市が連携して、市民の森などの手入れをしています。



手入れをすると、色々な種類の生き物がよみがえってくるよ。

追分・矢指市民の森愛護会の皆さん

森で遊んで、学ぶ



色々な森で、イベントが開かれています。

ウェルカムセンターに行ってみよう

森にすむ生き物の情報や、自然体験の行事、環境学習まで、森に関する様々な情報を発信しています。

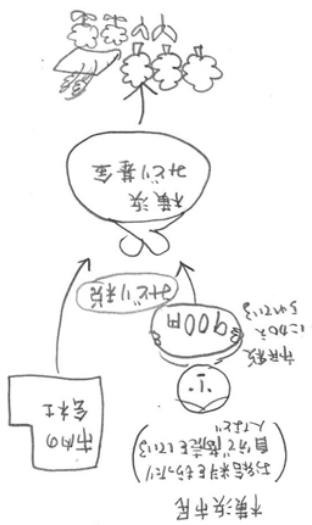
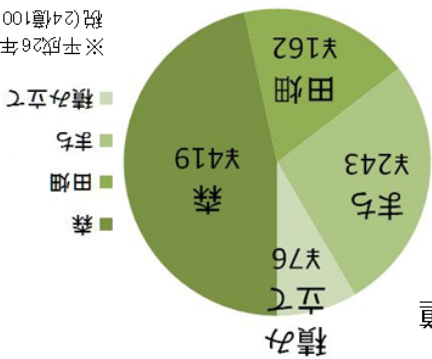
横浜市 ウェルカムセンター (検索マーク)

※これからの緑の取組(平成26-30年度)(案)に対する市民意見募集(平成25年)

市民アンケート*では、74%の人がみどり税を「積極的に負担(ふた
 ん)する必要がある」と回答し、「どちらかと言えば負担する必要がある」と回答
 されています。みどり税を活用したみどりアップ計画は、横浜市民の想
 いに支えられた取組です。

横浜だからできること

※平成26年度に使用したみどり
 税(4億100万円)から算出



900円の使い道

横浜市民は、市民税に年間900円のみどり税
 が加えられています。市民税を納めているの
 は、ある金額以上の所得がある人。また、横
 浜市にある会社もみどり税を納めています。

みどり税は誰が納めている？

森を買い取り、さらに緑を増やしたりと、みどりアップ計画を進めるた
 めには、お金が必要です。みどり税は、みどりアップ計画のための税金とし
 て、平成21年度から横浜市で始まった税金で
 す。

1人ひとりの900円のうちから。横浜みどり税

横浜みどりアップ計画
 ってなあに？(仮)

みどりアップ(別冊)子ども版原稿

表紙写真は6日に撮影予定

マコト

山折り